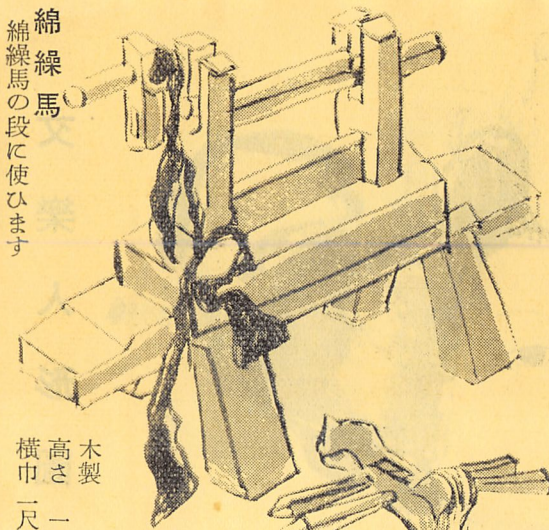


文樂人形小道具圖解

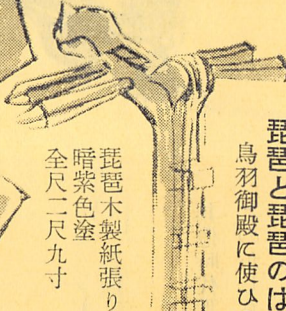
其 十八

齋藤清二郎解説並繪

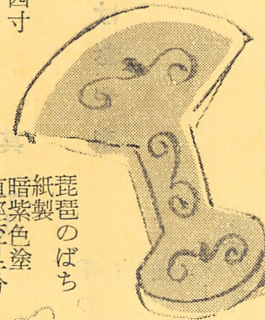
(轉載不許)



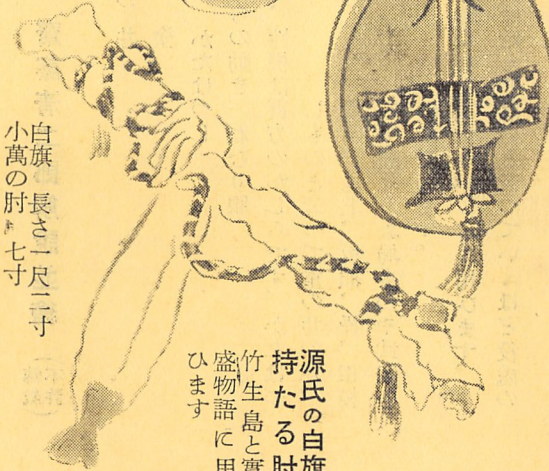
綿線馬
綿線馬の段に使ひます



琵琶と琵琶のばち
鳥羽御殿に使ひます
琵琶木製紙張り
暗紫色塗
全尺二尺九寸



琵琶のばち
紙製
暗紫色塗
直徑六寸三分



白旗 長さ一尺二寸
小萬の肘 七寸

源氏の白旗
持たる肘
竹生鳥と實
盛物語に用
ひます

★長期建設 國民精神總動員 ★國を護つた傷兵護れ ★金製品を賣りましたか★

學園一致・盡忠報國・堅忍持久

前賣切符

一等席指定券に限り五日前より左記場所にて前賣を致します。

四ッ橋 文樂座
心齋橋筋 京阪案内所
朝日ビル ブレイガイド
電話南一八三六番
電話北濱三九九五番

◇團體の御申込みは特に御便宜に御取計ひ申上げます

◇御案内

お下足の用意は御座いますが靴草履はそのまゝ御入場出来ますので御便利です

◇御觀覽料◇
一等席・三圓三十錢
(御座席三十錢上り)
二等席・一圓三十錢
三等席・六錢
(各等入場税別)
(初日は各等割引料金)

四ッ橋 文樂座

電話南 〇七三三
八三〇七
八三二二
番番番

★防諜標語・一人一人が防諜戰士★

◇出演者

病氣其他の事故にて出場不可能の場合は乍勝手代役にて相勤めますから豫め御諒承願ひます。

十一月一日初日

初日午後二時開演
毎日午後三時開演

人形海潮編

結霜の顔よせ興行



四ッ橋 畔

文樂座

第一 源平布引瀧

竹生島遊覽の段

實盛 (豊竹本文字太夫 和泉太夫)
 小まん (竹本南部太夫 伊達太夫)
 左衛門 (豊竹本伊勢太夫 富太夫)
 忠太 (豊竹駒若太夫 松島太夫)
 宗盛 (竹本播路太夫 新左工門)

(人形役割)

宗盛 公吉田文二郎
 齋藤實盛 吉田玉藏
 飛彈左衛門 吉田玉市
 小まん 桐竹紋十郎
 追手忠太 桐竹紋昇

瀨尾十郎詮議の段

中
 竹本常子太夫 新太夫 津磨太夫 豊竹澤廣若太夫 鶴澤本若太夫 竹本相生太夫 豊野澤呂太夫 豊澤仙太夫

(人形役割)

九郎助の女房 桐竹紋太郎
 矢橋仁惣太 吉田玉徳
 百姓九郎助 桐竹政龜
 粹太郎 吉田文枝
 葵御前 吉田光之助

齋藤實盛物語の段

竹本新左衛門 豊野澤吉五郎 豊澤呂仙太夫 鶴澤和泉太夫

齋藤實盛 吉田玉藏
 瀨尾十郎 吉田榮三
 小ま ん 桐竹紋十郎
 庄屋 吉田兵次
 駒若君 桐竹紋之助
 百姓 大ぜい

音羽山の段

竹本大隅太夫 豊澤廣助

(人形役割)

松並檢校 吉田玉幸
 谷川冷水 吉田多三
 多田藏人行綱 吉田榮造
 難波六郎 桐竹門三

鳥羽御殿松並琵琶の段

竹本津太夫 鶴澤寛治郎

(人形役割)

松並檢校 吉田榮三
 實ハ多田藏人行綱 桐竹門造
 仕丁平次 桐竹門造
 實ハ藤六郎 吉田文五郎
 仕丁又五郎 桐竹紋十郎
 實ハ越中次郎 吉田文五郎

紅葉山の段

竹本津の子太夫 野澤八造

紅葉の櫻 桐竹紋司
 紅葉の局 吉田兵次
 若葉の局 吉田万次郎
 平重盛卿 吉田文作

第二 戀女房染分手綱

道中双六の段

豊竹駒太夫 乳母重の井 吉田文五郎
 ツレ 竹本雛太夫 調姫 桐竹紋之助
 鶴澤清二郎 本田彌三左衛門 吉田玉幸
 ツレ (鶴澤清友三郎 腰元お福 吉田光之助)
 鶴澤清友三郎 腰元お福 吉田光之助
 重の井子別れの段 馬方三 吉田榮三郎
 切 豊竹古觀太夫 領吉田玉市
 鶴澤清六 領吉田玉徳

(人形役割)

第三 才駒 戀娘昔八丈

(人形役割)

親娘 庄お駒 桐竹紋十郎
 庄兵衛房 吉田小門 吉田作
 代官堀彌藤治 吉田文
 才八尾花才三郎 桐竹紋太郎
 番頭丈 吉田文二郎
 番番 吉田多三郎
 番番 吉田兵三郎
 見物 平角 人内太八郎 吉田次郎
 鈴ヶ森の段 鶴澤重造

文樂人形圖解

其十八

齋藤清二郎解説並繪

(轉載不許)

ふけおやま



重の井 白塗

髪 かたはづし

かしらの動き ねむり眼

年増の女、性根は實方のかしらです。かたはづしものと云つて重の井の外、

政岡、尾上、板額、操、相模

戸無瀬などお局ものや武家ものに用ゐます。

其他時代世話の區別なく總て中年の女のかしらに用ひます。

このかしらの出ない狂言は殆んどないと云つていゝほど役處の多いかしらです。